

大阪市立 深江小学校

所在地 〒537-0002 東成区深江南1-4-6
 電話 06-6971-0009
 校長名 山根 久美
 学級数 12学級(内 特別支援学級2)
 児童数 250人 標準服 無 集団登校 無



学校概要



深江小学校は、昭和14年4月、大阪市神路尋常小学校から分離・独立し大阪市深江尋常小学校としてスタートしました。

深江小学校では、大阪市の学校運営指針をふまえて、(1)子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現 (2)心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上を最重要目標として学校運営を推進しています。

「運営に関する計画」の概要

- 学校教育目標「心豊かに力強く生きぬく子ども」の育成～夢や志を持ち、一人一人が輝く学校～
 1. 基礎・基本を大切にし、確かな学力と健やかな心身を育む。
 2. 防災・減災教育、安全安心な学習環境づくりを進める。
 3. 主体的な学びの創造と発信に向けた体験的な学習の推進。
- 学校・家庭・地域のつながりを大切にしながら、子どもたちが郷土「深江」や大阪を愛し、誇りに思うとともに、特別授業や体験学習を通して将来の夢や目標を持ち、確かな学力と健やかな心身を育む教育活動を推進しています。
- 国語科を中心として教員の研修を進め授業力の向上を図り、児童の学力向上をめざしています。

体力の状況と体力向上に向けた取り組み

本校では運動やスポーツが好きだという児童の割合が多く、健康的な生活習慣の改善に取り組んでいます。体験的な学習等を通して運動の機会と場をできるだけ多く設け、今後も、トップアスリートによる特別授業や区体力向上事業の活用を通して運動への興味関心を喚起していきます。また、オリンピックやパラリンピックについての意識を高め、何事にも挑戦することの大切さを伝える機会を多く設けていきます。



トップアスリート特別授業

★令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(種目別平均値)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.52	16.00	37.05	38.29	39.86	9.59	151.50	20.05	49.95
女子	16.79	18.16	40.12	37.96	30.83	9.71	151.04	11.44	55.00

学力の状況と学力向上に向けた取り組み

基本的な生活習慣が比較的身につけている児童が多く、落ち着いて学習に取り組むことができます。言語力や論理的思考の育成・読書活動の向上を図るために、言語活動を重視した取り組みを進めます。特別授業の実施、外国語活動・読書活動・郷土学習の充実、ICT機器の活用を進め、習熟度別・少人数授業などの活動を通し児童一人一人がわかる喜び、学ぶ楽しさを実感し、目標を持って学習に取り組めるよう指導を進めています。

★平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果(平均正答率)

	国語	算数
	58	68

深江小学校のめざす子ども

「心豊かに力強く生きぬく子ども」の育成
 —夢や志を持ち、一人一人が輝く学校—

★豊富な講師陣による夢の特別授業★

1. 基礎・基本を大切にし、確かな学力と健やかな心身を育む。
2. 防災・減災教育 安全安心な学習環境づくりを進める。
3. 主体的な学びの創造と発信に向けた、体験的な学習を推進する。

確かな学力

■基礎学力の定着

- ICT機器等の活用
- プログラミング学習



- 全学年での外国人教師による外国語指導



- 家庭学習の定着

■読書活動の充実

- 地域図書館と連携した読書活動

■郷土・大阪学習の推進

- 深江の菅の文化についての学習
- 博物館学習など

豊かな心

■規律ある学校生活

- 安全安心な学習環境
- 規範意識の定着

■協働学習の推進

- 個を大切にする教育

■感受性を育む専門家による特別授業

- 著名な音楽家による特別授業



■人権・道徳教育の推進

- 道徳・人権教育の充実



■防災・減災教育の推進

健やかな体

■体力の向上

- トップアスリートによる特別授業



- 運動習慣づくり

- 区体力向上事業の活用

■健康的な生活習慣

- 早ね・早起き・朝ごはん
- 食育の充実

体験的な学習の推進 言語活動の充実

- 学校協議会の開催
- 積極的な情報公開・発信
- 家庭・地域との連携